

具体的な取組の柱									
事項	具体的取組	江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省	
①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組									
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策の推進									
	・堤防整備等	R3 当初計画 R3 3月末時点						江の川改修 江の川改修	
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備									
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	M R3 当初計画 R3 3月末時点						孤立する可能性がある地区において危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ設置 R2年度に簡易水位計を4箇所整備済。	
	・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上	DM R3 当初計画 R3 3月末時点					記録的短時間大雨情報及び高潮警報の改善 ・大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準見直しを実施。新基準の運用開始(継続作業)(令和3年6月8日より) ・記録的短時間大雨情報の改善(令和3年6月8日より) ・「キキクル(危険度分布)」通知サービスの細分化(令和3年6月8日より) ・警戒レベルと対応した高潮警報等に改善(令和3年6月8日より) ・線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起(令和3年6月17日より) ・指定河川洪水予報の改善(令和3年6月1日より) ・防災気象情報と警戒レベルとの対応(令和3年出水期より) ・防災情報提供システムでキキクル(危険度分布)のメール通知を開始(令和3年6月3日より)。	・情報提供設備の整備として地元ケーブルテレビとの連携(CCTVカメラ+水位表示) ・警戒レベルの配色に合わせて量水標をリニューアル	
■想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域に基づくハザードマップの作成・周知等									
	・想定最大規模降雨に対応したハザードマップに基づく避難計画の見直し(避難場所及び避難経路の検討、広域避難の必要性検討、隣接市町との洪水時の連絡体制の検討)	E,F,G,L R3 当初計画 R3 3月末時点	想定最大規模降雨に基づく避難計画の見直し 旧桜江町における避難計画の見直しについて検討を行った	避難場所及び避難経路の見直し ハザードマップにより周知	ハザードマップの修正、表示情報の検討 ハザードマップのデジタル化について検討を行った	避難計画の見直しについて説明会の実施 ハザードマップの修正等見直しを実施			
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域に基づく避難指示等を発令する範囲の見直し	C,E,F,G R3 当初計画 R3 3月末時点	避難指示等の発令範囲の検討を行う 検討の結果、現行の範囲で変更なし	1地区見直し予定 見直し済	過去の被害時の時系列水位等データを検証 近年の数値を並列に整理し検証中	対象地域に漏れがない運用の実施 漏れがないよう実施した			
	・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人、観光客等を対象とした避難情報の提供	J R3 当初計画 R3 3月末時点	全ての要配慮者利用施設における避難確保計画の策定に向けてフォローアップを行う 全ての要配慮者利用施設における避難確保計画の策定に向けてフォローアップを実施	訓練実施の支援 計画作成支援、訓練実施支援	避難確保計画の策定(改訂)支援及び計画に基づく訓練等の支援(共催を含む) 策定支援を行い策定を進めている。訓練についてはコロナ禍で未実施	(土砂災害警戒区域内)の要配慮者利用施設の避難確保計画作成について協議を実施予定 協議を実施し、避難確保計画を作成	江津市の定住外国人等を対象とした講習会を実施予定 要望が無かったため実施無し		
	・夜間、荒天時における避難指示等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討	K R3 当初計画 R3 3月末時点	避難指示等発令マニュアルの改正の検討を行う 避難情報発令判断基準の改正を行った	発令基準を検討 未実施	過去の被害時の時系列水位等データを検証 近年の数値を並列に整理し検証中	自主防災組織と避難誘導体制の協議を実施予定(協議を踏まえ避難訓練を実施予定) 自主防災組織への説明会の実施			
	・江の川(下流)の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	F,H R3 当初計画 R3 3月末時点	商工会等と協議 桜江町商工会と連名で事業継続力強化支援計画を策定し、小規模事業者の業務継続計画策定の支援体制を構築した	研修会・訓練の共催及び支援 未実施	研修会・訓練の共催及び支援 関係者と協議したがコロナ禍により未実施	商工会事務局と協議予定 未実施	要請に応じて参加・支援 要請がなく未実施	各種講習会・訓練等の開催に協力し、支援を行う。 新型コロナウイルス感染拡大による影響で、協力の依頼なし。	
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所への配付やまことまちごとハザードマップによる災害リスクの現地表示の実施	A,E,F,G,L R3 当初計画 R3 3月末時点	海抜表示板等の維持を行う 海抜表示板や避難所看板の維持を行った	現地表示実施の検討 ハザードマップにより周知	浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの修正、浸水想定、避難経路の安全 デジタル化に併せ調整中	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域に基づき、ハザードマップを作成し、事業所へ配布 ハザードマップを作成し、全戸(事業所含む)へ配布			
■多様な防災活動を含むタイムラインの作成									
	・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの運用及び見直し	B R3 当初計画 R3 3月末時点	他機関・住民等と連携したタイムライン改正の検討を行う 他機関と連携したタイムライン改正の検討を行った 桜江地区の住民に対してマイタイムラインの勉強会を行った	随時見直し タイムライン検討会への参加	減災協による 減災協により適宜見直しを実施	水害タイムライン策定にあたり、協議会の一員として運用見直しに協力する。 見直しを実施	運用および実洪水等による見直しに協力する 運用及び実洪水を踏まえた見直し検討に協力	水害対応タイムラインの確認・調整(水害対応タイムラインにおいて、依頼に基づき防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う) 江の川タイムラインにおいて、拡充された洪水予報等、新たな防災気象情報の追加を助言した。	
■情報伝達、避難計画等に関する事項									
	・洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	緊 R3 当初計画 R3 3月末時点	ホットラインの確認を行う ホットラインの確認を行った	随時実施 4月22日ホットライン訓練	ホットラインの年次更新等 実施	洪水時における河川管理者からの情報提供等を構築 ホットラインを確認した	(八戸川)県管理河川のタイムラインを活用して情報提供 県管理河川における情報提供を実施	出水期前にホットラインの構築状況、タイミングを確認 特になし	
	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	緊 R3 当初計画 R3 3月末時点	ダム放流情報を活用した避難体系の検討を行う 未実施	関係機関等と協議 情報の整理中	施設管理者等の出す情報の確認と活用を検討 情報の整理中	ダム放流情報を活用した避難体系の確立に協力する 避難体系を確立できた	沿川市町村等から要望のある浜原ダムの放流情報に公開に取組みたい(要望) -	治水協定に基づく事前放流の連絡体制等の整備等 特になし	
■防災教育や防災知識の普及									
	・江の川(下流)における浸水イメージ動画の作成・公開	A,B,F R3 当初計画 R3 3月末時点						引き続き実施	
	・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用	H,I,R,緊 R3 当初計画 R3 3月末時点	広報誌等で活用方法を周知する 桜江地区住民に対して勉強会を実施	町民への周知 ハザードマップ、広報誌で周知	必要な情報の整理と広報手段の検討 広報、HPにより周知	町広報などで有効活用の周知を実施予定(住民対象) 周知を実施できた	島根県水防情報システムや、島根防災メールによる河川情報の発信 水防情報システムや防災メールにより河川情報を発信	水害リスクライン等の活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用 マイ・タイムライン作成等の防災講習会において川の防災情報等の各種情報を紹介	
	・小中学校などと連携した江の川(下流)水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実	H R3 当初計画 R3 3月末時点	出前講座等で水害(防災)教育を行う 出前講座等で水害(防災)教育を実施	小中学校で実施 8月6日教職員向け研修会	防災教育の実施・充実に向けた教育委員会との協働 ハザードマップ学習会を実施(小学校)	各小中学校で防災学習会を実施 R3.9.16と9.28の2回上小学校4年生を対象に防災出前講座を実施	要請に応じて参加・支援 要請がなく未実施	出前講座等の実施により、防災気象情報の活用をはじめとする防災知識の普及を行う。 11/19に郷田小学校4年生(17名)を対象に出前講座を実施	
	・住民の水防意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	B,H,I,緊 R3 当初計画 R3 3月末時点	出前講座や避難訓練でツールを活用する 桜江地区住民に対して勉強会を実施	5月30日、6月6日訓練実施 5月30日、6月6日訓練実施	防災意識を高める効果的な研修会、学習会の開催、河川管理者等と協働した説明会・訓練の開催 自主防災組織が主体となった訓練を協働実施、防災学習会の開催	防災訓練や出前講座などで動画を活用する。また各地域で説明会を開催する。 新聞広報(考える県政)による情報発信 大田市(大国地区)において出前講座を実施	住民に対して、広報誌などで施設機能について情報提供 新型コロナウイルス感染拡大による影響で、出前講座の依頼なし。	出前講座等において住民への説明を実施 美郷町(6/15)、江津市桜江町(7/11)、川本町(10/10)において出前講座を実施	
	・スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信	I R3 当初計画 R3 3月末時点	(配信) (配信)	(配信) (配信)	(配信) (配信しない)			プッシュ型の洪水情報発信を引き続き実施 プッシュ型の洪水情報発信を引き続き実施	
	・住民一人一人の避難計画・情報マップ(マイ・タイムライン)の作成促進 ※令和5年度までに全小中学校、自治会において、マイ・タイムラインの作成支援を実施	緊 R3 当初計画 R3 3月末時点	マイ・タイムラインの作成について検討を行う 桜江地区住民に対して勉強会を実施	研修会実施・作成支援 10月10日マイタイムライン研修会	自主防災組織単位での学習会にマイタイムライン作成の取り組みを推進、関係機関と連携し講師等の手 自主防災組織の役員及び防災リーダーを担う防災士を対象に実施	自主防災組織、防災士と協力しマイ・タイムラインを作成する。 自主防災組織、防災士へマイ・タイムライン作成研修を実施	要請に応じて参加・支援 要請がなく未実施	川本町、美郷町、邑南町を対象にマイ・タイムラインの作成支援を実施予定 美郷町(6/15)、江津市桜江町(7/10)、川本町(10/10)においてマイ・タイムライン作成支援を実施	

具体的な取組の柱								
事項	具体的取組	江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省
■減災・防災に関する国の支援								
	適切な土地利用の促進	緊	R3 当初計画					農産物産地における土地利用規制等を促進するため、引き続き、水害リスク情報の提供を実施
			R3 3月末時点					—
	地域防災力の向上のための人材育成	緊	R3 当初計画					地域に精通し水害・土砂災害リスクに関する豊富な知見を有する専門家による支援
			R3 3月末時点					—
	水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援	緊	R3 当初計画					必要に応じて実施
			R3 3月末時点					—
	代行制度による都道府県に対する技術支援	緊	R3 当初計画					必要に応じて実施
			R3 3月末時点					—
	災害時及び災害復旧に対する支援	緊	R3 当初計画					必要に応じて実施
			R3 3月末時点					—
	災害情報の地方公共団体との共有体制強化	緊	R3 当初計画					必要に応じて実施
			R3 3月末時点					—
②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動								
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備								
	洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備(再掲)	M	R3 当初計画					孤立する可能性がある地区において危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ設置
			R3 3月末時点					R2年度に簡易水位計を4箇所整備済。
	避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上(再掲)	DM	R3 当初計画					情報提供設備の整備として地元ケーブルテレビとの連携(CCTVカメラ+水位表示)
			R3 3月末時点					警戒レベルの配色に合わせて量水標をリニューアル
	樋門の無動力化の推進	T	R3 当初計画					江の川(下流)において、実施
			R3 3月末時点					R1年度に実施。(N=1箇所)
■水防活動の効率化及び水防体制の強化								
	消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保	LM	R3 当初計画	水防団員の連絡体制の再確認を行う	消防団により随時実施	消防団員を対象とした研修会の開催、水防団活動の情報伝達体制の再構築	消防団各分団により随時実施	R2NI
			R3 3月末時点	水防団幹部に対して連絡体制の確認を行った	消防団により随時実施	内水排除を対象とした講習会を開催、IPトランシーバーの配布と情報共有	消防団各分団により随時実施した	
	江の川(下流)の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	HN	R3 当初計画	水防団員による点検を実施	消防団により随時実施	合同点検の実施に向け、消防団員や地域住民の参加を促す	消防団員により随時実施	合同点検等を実施
			R3 3月末時点	出水時に水防団員による点検を実施	消防団により随時実施	コロナ禍により未実施	消防団各分団により随時実施した	新型コロナウイルス感染拡大による影響で、未実施。
	水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	N	R3 当初計画	水防団員に排水ポンプ等の実技指導を行う	各分団の訓練で実施	共有による実施に向け関係機関と協議を行う	各消防団の訓練に併せて実施予定	要請に応じて参加・支援
			R3 3月末時点	水防団員に排水ポンプ等の実技指導を行った	各分団の訓練で実施	コロナ禍により未実施	未実施	要請がなく未実施
	備蓄水防資材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	O	R3 当初計画	重要水防箇所の点検等と併せて資機材使用方法の確認を行う	水防計画による確認	共有化に向けた具体的な協議を進める	R3年邑南町水防計画を策定し、情報共有を図る	出水期前に関係機関と調整会議などによる情報共有や資材の合同点検を実施
			R3 3月末時点	未実施	水防計画による確認	共有について未実施	情報共有を実施	水防計画による情報共有を実施
	市町庁舎の水害時における対応について業務継続計画を策定及び機能確保のための対策の充実	P 緊	R3 当初計画	新庁舎版業務継続計画を作成する	—	水害等の災害時における業務継続計画の改訂を適正に行う	必要に応じて業務継続計画を見直す。	
			R3 3月末時点	未実施	—	改訂について検討	見直しの必要が無いため、未実施	
	樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	Q	R3 当初計画	樋門操作員研修会を出水期前までに実施	樋門等操作員研修会で実施	関係機関と連携し適正な研修会・訓練の実施を行う	操作担当職員、消防団により6月までに実施予定	要請に応じて参加・支援
			R3 3月末時点	樋門操作員研修会を実施した	6月7日実施	説明会は開催、操作訓練については、消防団により実施	6月に該当分団と役場職員で操作訓練を実施	要請がなく未実施
③浸水を一日も早く解消するための排水対策								
■排水作業準備計画(案)の作成及び排水訓練の実施								
	排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	R	R3 当初計画	未定		排水作業準備計画に基づいた排水訓練の実施	排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施及び訓練を踏まえた見直し
			R3 3月末時点	未実施	未実施	内水排除を対象とした講習会を開催	未実施	R3.8豪雨時に谷住郷に排水ポンプ車を出勤させ、内水排除を実施。
	排水設備の耐水性の強化	緊	R3 当初計画	未定		排水施設の耐水性の確認と、対処方法の検討	必要に応じて排水設備の耐水性の強化する。	排水設備の耐水性の強化
			R3 3月末時点	未実施	未実施	実災害時において稼働し、不良箇所については修繕を実施	排水設備の点検・修繕を実施	未実施
新たな取組								
■報道機関との連携								
	報道機関との懇談会をwebにて開催	—	R3 当初計画					報道機関との懇談会をweb会議にて主催し、水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化する。
			R3 3月末時点					(第1回)令和3年6月9日「顕著な大雨に関する気象情報について」「メディアとの連携について」 (第2回)令和3年10月14日「住民に伝わる情報を目指して」「令和3年8月出水の概要」「無堤部における氾濫発生情報の発表について」 ※いずれも、出雲河川事務所・浜田河川国道事務所と共催
■追加確認事項								
質問内容	江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省	
ケアマネージャーに対する支援状況、地域包括支援センターへのハザードマップの掲示状況について教えてください。	ケアマネに対する支援なし ハザードマップの掲示なし	要配慮者利用施設へ配布	個別避難計画の策定支援に向けたケアマネージャーの活用及び支援については今年度の検討としています	邑南町役場福祉課内に、地域包括支援センターがあるため情報共有等実施できている。				